

各 位

2008年度 道内新入社員意識調査〈要旨〉

北海道生産性本部

北海道生産性本部（会長 濱田 賢一）では、2005年度より(財)社会経済生産性本部と共同で新入社員を対象とした「若者意識アンケート」による調査を実施しており、2008年度の調査結果については、全体分を4月23日付けで(財)社会経済生産性本部から公表しているところです。

当本部では、更に道内新入社員の意識傾向を把握するため、本調査データの中から道内分を抽出し、道外分と比較しながら「道内新入社員意識調査」を下記のとおり、取り纏めました。

つきましては、次世代を担う新入社員についての情報として、ご活用いただきたく、ご報告申し上げます。

記

1. 調査方法：

道内データについては、2008年3～4月に実施した当本部主催の新入社員研修時および道内の調査依頼企業における新入社員研修時に「若者意識アンケート」を配布し、回収した1,122通について集計・分析した。（道内データ回収率98.8%、比較対象道外データ1,576通）

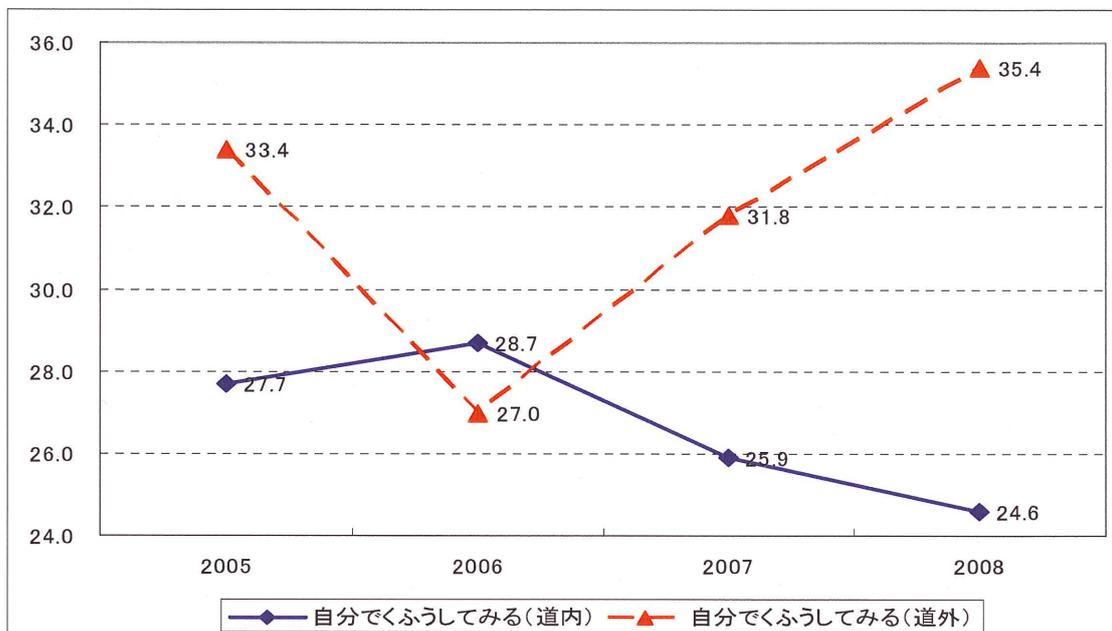
※各設問の未回答者分は削除してあります。

2. 添付書類：

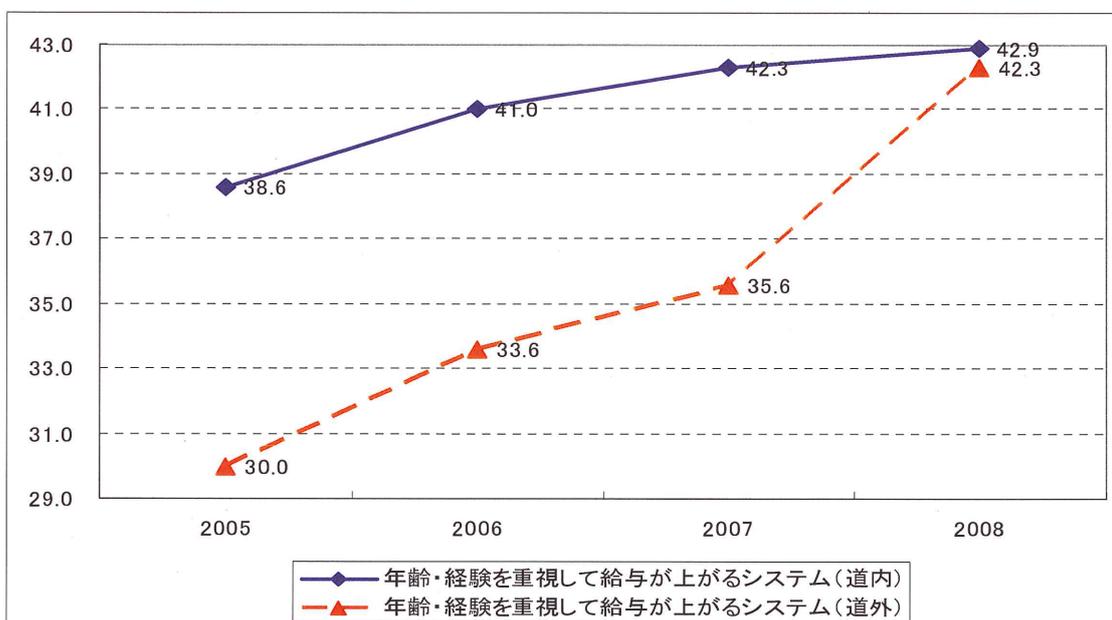
- (1) 調査結果要旨（本紙含め6ページ）：主だった調査結果を纏めております。
- (2) 集計表（7ページ）：全ての設問データを掲載しております。
- (3) 属性表（1ページ）：調査対象者の属性（性別・年齢など）を掲載しております。

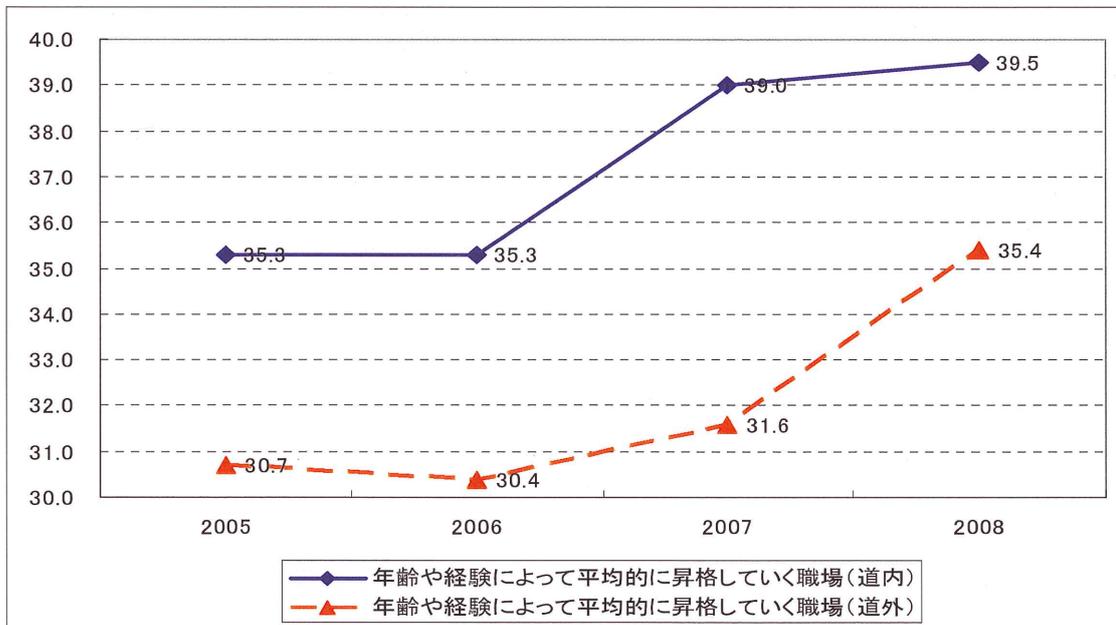
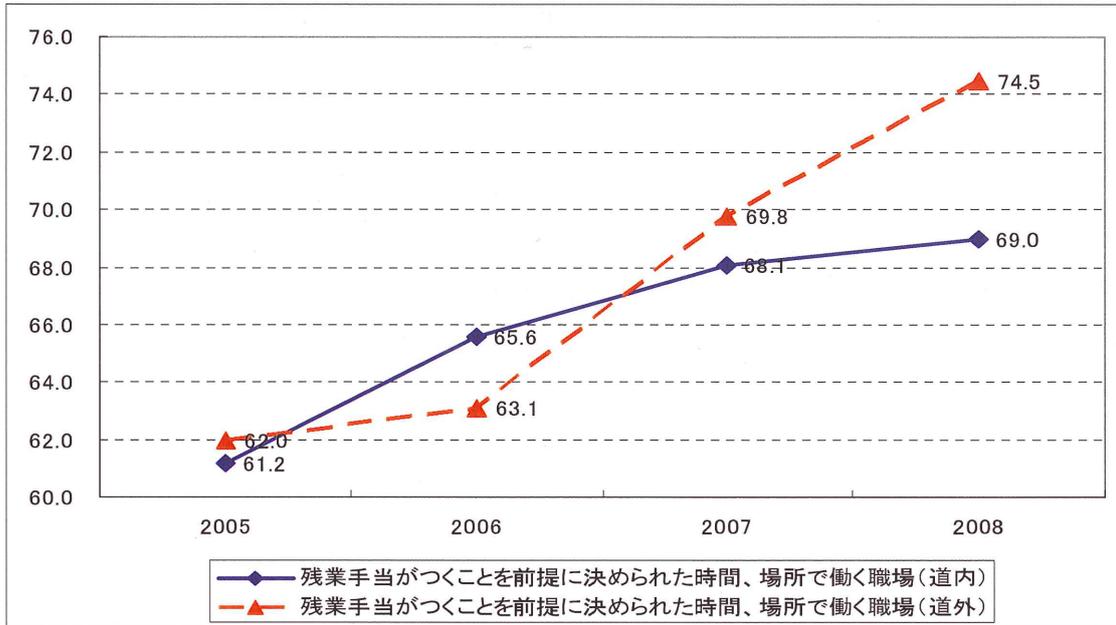
3. 調査結果要旨：

- (1) ある仕事をやっているうちに研修で教わったマニュアルに書かれていないことが起きたときの対応について、「できるだけ自分でくふうしてみる」が道内 24.6%（道外 35.4%）と過去最低となり、道外との差は前回調査の 5.9 ポイントから 10.8 ポイントへ拡大した。〈Q5 (b)〉



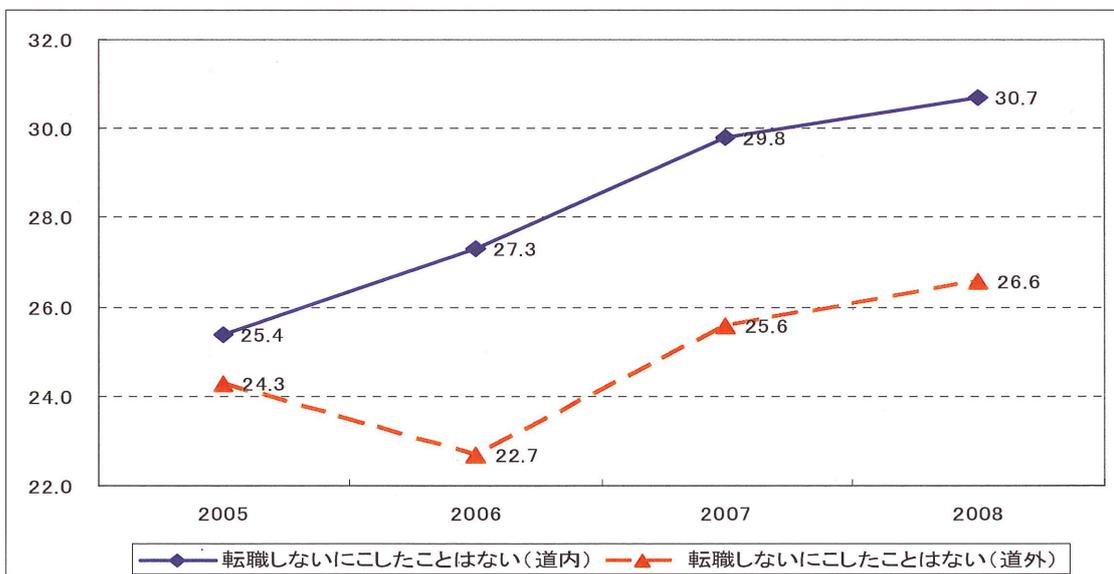
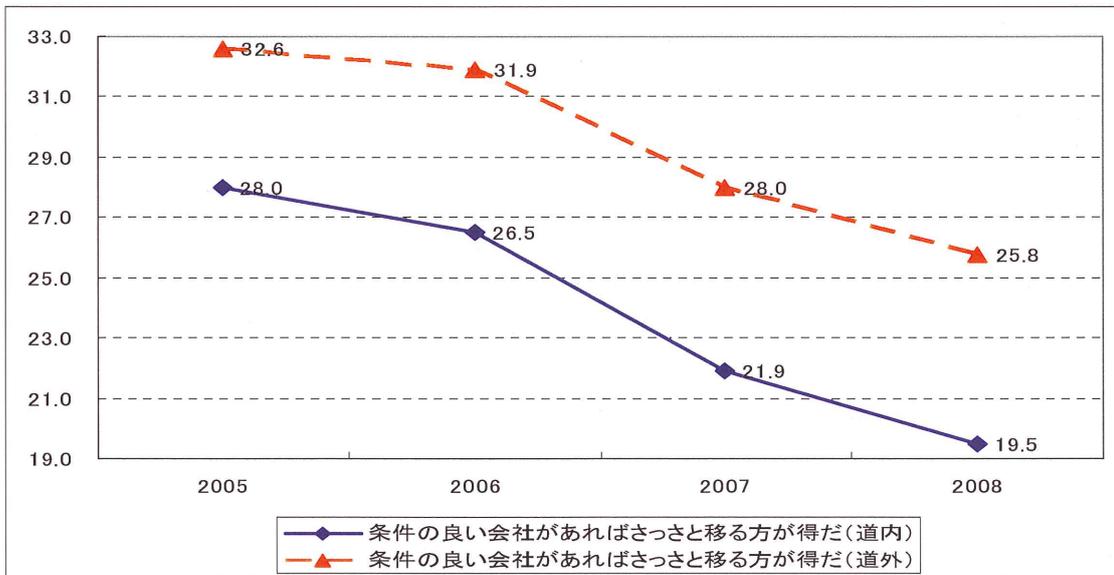
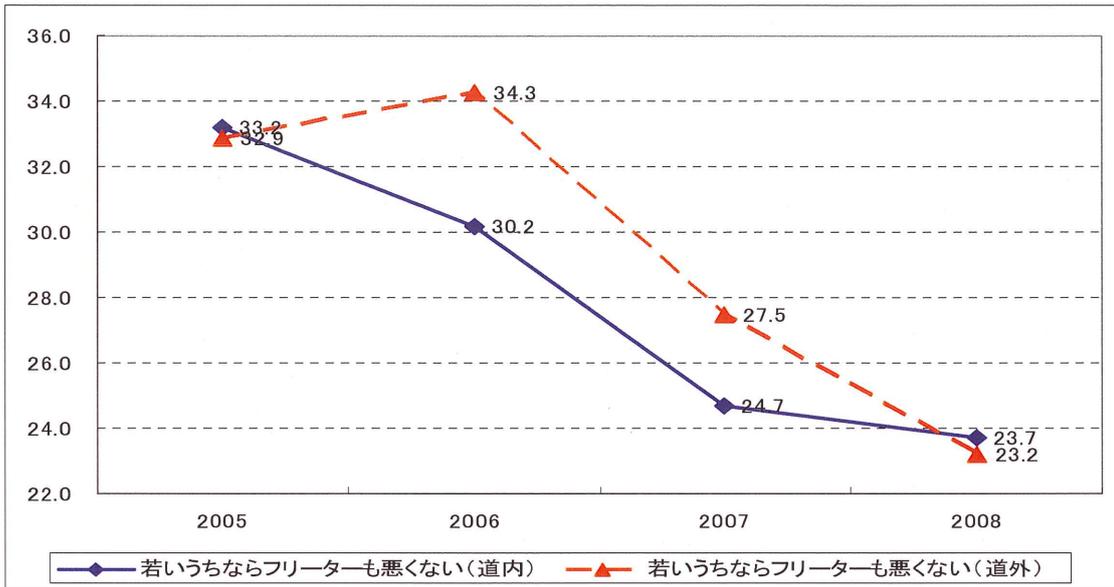
- (2) 給料の決め方について、「年齢・経験を重視して給与が上がるシステム」を希望する回答は道内 42.9%（道外 42.3%）、労働時間について、「残業手当がつくことを前提に決められた時間・場所で働く職場」を希望する回答は道内 69.0%（道外 74.5%）、昇格について、「年齢・経験によって平均的に昇格していく職場」を希望する回答は道内 39.5%（道外 35.4%）となり、いずれも過去最高となった。〈Q6 (c), (e), (g)〉

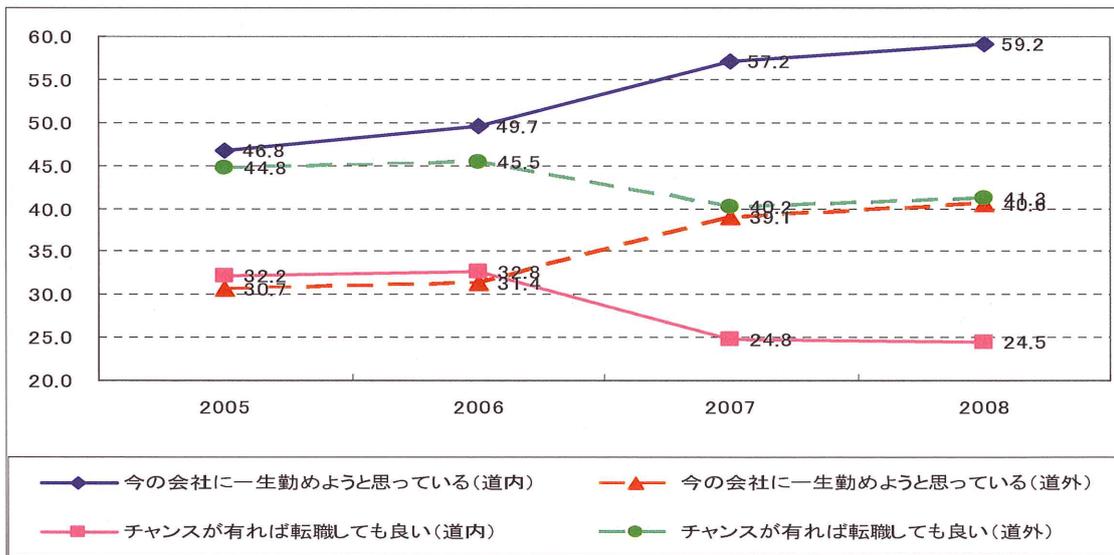
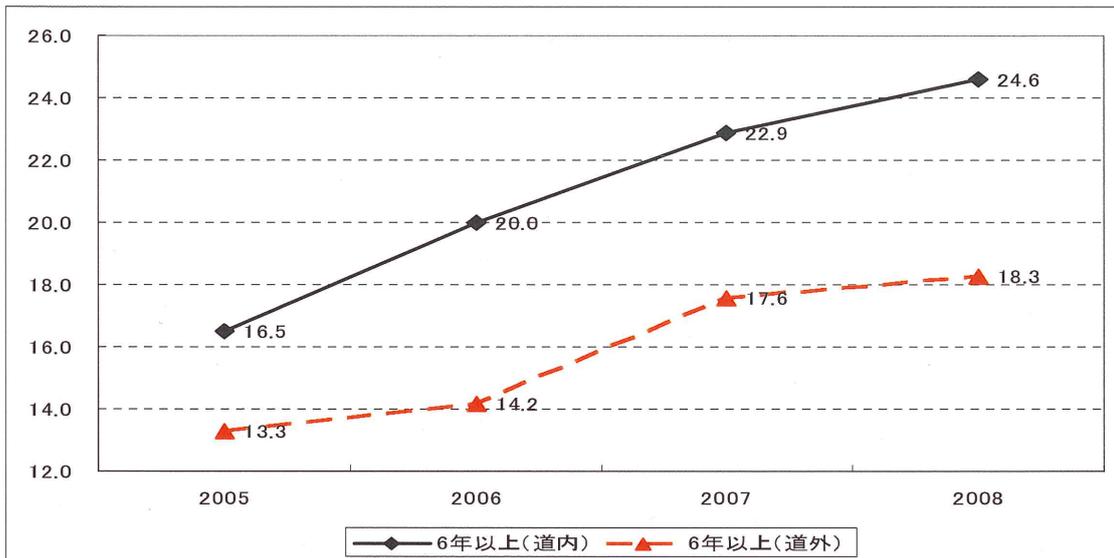




(3) 就業・転職意識について、「若いうちならフリーターの生活も悪くない」が道内 23.7%（道外 23.2%）、「条件の良い会社があればさっさと移る方が得だ」が道内 19.5%（道外 25.8%）で、いずれも過去最低となり、「転職しないにこしたことはない」が道内 30.7%（道外 26.6%）、「ひとつの会社に最低6年以上勤めるべき」が道内 24.6%（道外 18.3%）となり、いずれも過去最高となった。また、「今の会社に一生勤めようと思っている」が道内 59.2%（道外 40.6%）で過去最高、「チャンスがあれば転職しても良い」が道内 24.5%（道外 41.3%）で過去最低となり、道内では、「一生勤めようと思っている」と「転職しても良い」との間の差は拡大傾向となり、道外では反対に縮小傾向（ほぼ同率）となった。

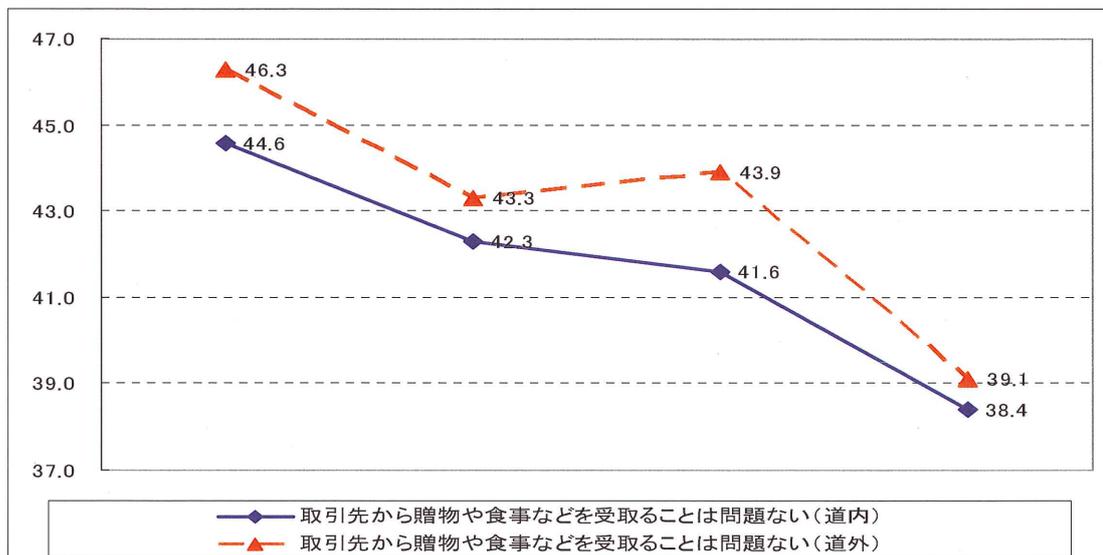
<Q7 (d), (e), Q9 (a), (b), (c)>





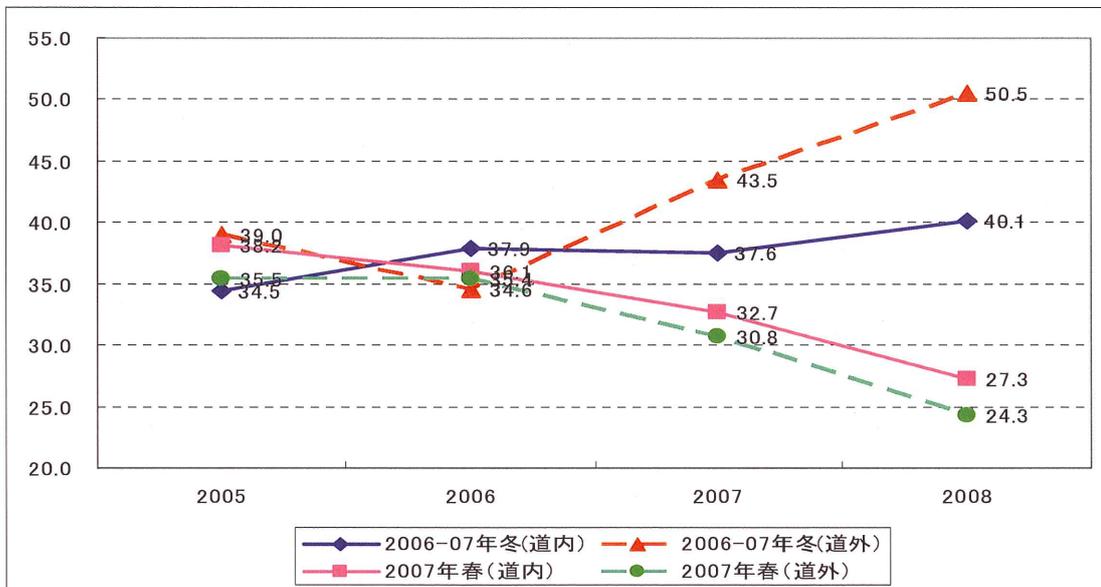
(4) 発注者の立場のときに「取引先からお中元やお歳暮や食事などを受け取ることは問題ない」が道内 38.4% (道外 39.1%) となり、過去最低となった。

<Q7 (k)>

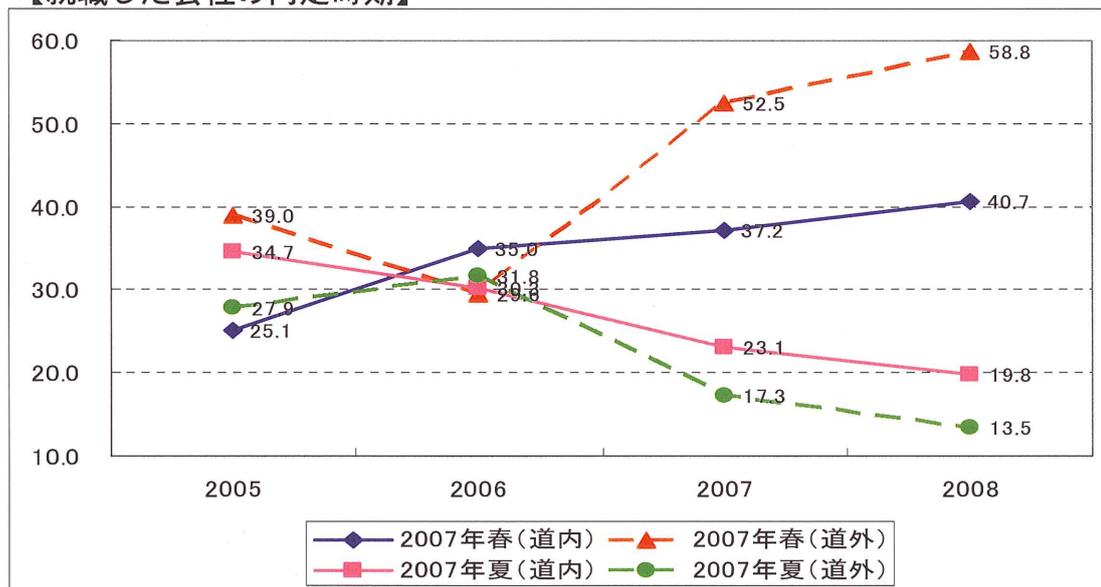


(5) 就職活動について、就職活動を始めた時期は「2006-07冬」が道内 40.1% (道外 50.5%)、「2007春」が道内 27.3% (道外 24.3%)、就職した会社の内定時期については、「2007春」が道内 40.7% (道外 58.8%)、「2007夏」が道内 19.8% (道外 13.5%) となり、いずれも早期化傾向が強まった。<Q10(a), (d)>

【就職活動を始めた時期】



【就職した会社の内定時期】



【お問い合わせ先】北海道生産性本部 (担当：澤田)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター 6階

TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898